

大会役員・競技役員の感染防止対策について

競技会の開催にあたっては、今年度も日本陸連から提示された「陸上競技活動開催のガイドンス」(2022年5月2日)に則って、感染防止対策を進めてまいります。

新型コロナウイルスの感染者数の現在の状況は、全国・宮城県内とも減少傾向が見られるものの、まだ収束の見通しは立たない状況です。今後も十分な注意が必要なことから、大会役員・競技役員の皆様には、相変わらずのご負担をお掛けすることとなりますが、感染防止を第一に考えての大会運営を行うために、下記の点について心掛けていただきますようお願いいたします。

1 審判協力について

(1) 役員協力を希望された方、推薦された方々には委嘱状を発行いたしますが、新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患をお持ちの方につきましては、ご自身の健康を第一に考え、感染防止対策を十分に講じていただきますようお願い申し上げます。

2 体調管理チェックシートについて

※チェックシートは、感染の可能性の有無を判断する大事な資料です。

- (1) 1週間前から体調管理チェックシートに必要事項を記入の上、大会当日に受付に提出し確認を受けてください。(くれぐれも忘れないようにお願いします。受付確認後、リストバンドを配布します。)
- (2) 大会当日の朝は、必ずご自宅で検温を済ませてください。
- (3) 大会終了後、別紙シート(大会後/個人管理用)を利用し2週間体調管理を行ってください。

3 各自用意していただくもの

※自身の健康・安全を守るため、また人にうつさないために、必要最低限の準備です。

- (1) マスクやフェイスシールド，サングラスやゴーグル，使い捨ての手袋など
- (2) 携帯用消毒液
- (3) 昼食と飲み物（交通費と合わせて昼食補助費を支払います。）

4 競技中の行動について

- (1) 競技中は，他の審判員，競技者との距離を保ってください。
- (2) 競技中に，倒れた選手の介護など選手との接触が必要とされる場合は，防護体制（マスク，フェイスシールド，ゴーグル，使い捨て手袋など）を整えた役員が行うようにしてください。
- (3) トランシーバーやマイク等を使用する場合は，マスクやフェイスシールドを必ず装着してください（唾液等のリスクが非常に高いので）。
合わせて熱中症の対策も怠らないようにしてください。
- (4) トランシーバーやマイクは，使用後は，こまめに除菌作業をしてください。使用者が交代する場合も，除菌作業を行ってください。
- (5) 用器具の除菌作業は行いません。従って，用器具の準備や使用前後には，必ず，手洗いや洗顔，手指の消毒をこまめに行ってください。

6 大会終了後

- (1) 帰宅後は，手洗い，洗顔を十分に行ってください。
- (2) チェックシートに従い，2週間，健康観察を行ってください。
- (3) 体調不良が認められた場合，速やかに，医療機関に相談し指示を受けてください。
- (4) 万が一，感染が認められた場合や濃厚接触者となった場合は，陸協事務局に報告をしてください。（宮城陸協事務局 022-767-2194）